



マイコプラズマ肺炎 長引く咳は要注意!

令和6年10月30日
富山県感染症情報センター
(富山県衛生研究所内)
(0766-56-5431 直通)

感染症発生動向速報

(令和6年第43週分・10月21日～10月27日)

《インフォメーション》

●マイコプラズマ肺炎

マイコプラズマ肺炎は、「肺炎マイコプラズマ (*Mycoplasma pneumoniae*)」といわれる細菌に感染することによって起こる呼吸器感染症です。マイコプラズマ肺炎は5類感染症として基幹定点医療機関から届出されています。マイコプラズマ肺炎の報告は1年を通じてみられ、秋冬に増加する傾向があります。新型コロナウイルス感染症が発生した2020年

以降は報告数が減少していました。しかしながら、2024年は、全国における第1～42週の報告数が11,552例と大きく増加しています(図)。

患者の年齢分布は、0～4歳が19.0%、5～9歳が39.9%、10～19歳が31.8%を占めています。

感染経路は主に飛沫感染と接触感染で、家庭内や学校など濃厚接触が多い場所で感染の伝播がみられます。感染してから発症するまでの潜伏期間は長く、2～3週間程度です。症状は、発熱や全身倦怠感、頭痛、痰を伴わない咳などで、咳は熱が下がった後も長期にわたって(3～4週間)続くのが特徴です。多くの人はマイコプラズマに感染しても気管支炎などの比較的軽い症状が続いた後に回復しますが、一部の人には肺炎となり、重症化することもあります。治療にはマクロライド系抗菌薬が有効でしたが、2010年代の初期には耐性菌が増加しました。国内での耐性率は、その後減少し、2019～2020年には20～30%と報告されています。耐性率は東アジア地域で高く、動向に注意が必要です。マクロライド耐性が疑われ、抗菌薬使用が必要と判断される場合には、キノロン系薬(トスフロキサシン)の使用も考えられます。

長引く咳などの症状があるときは、医療機関を受診しましょう。感染予防には普段から流水と石けんで手洗いをすることが大切です。また、咳の症状がある場合には、マスクを着用するなど“咳エチケット”を守ることを心がけましょう。

(参考: [国立感染症研究所「マイコプラズマ肺炎の発生状況について」](#))

《全数報告の感染症》

二類感染症 結核 3件 (①40歳代、女性 ②50歳代、女性 ③90歳代、女性)

三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 2件 (①②共に50歳代、女性、VT1 ①型不明 ②O91)

五類感染症 急性脳炎 1件 (80歳代、女性)

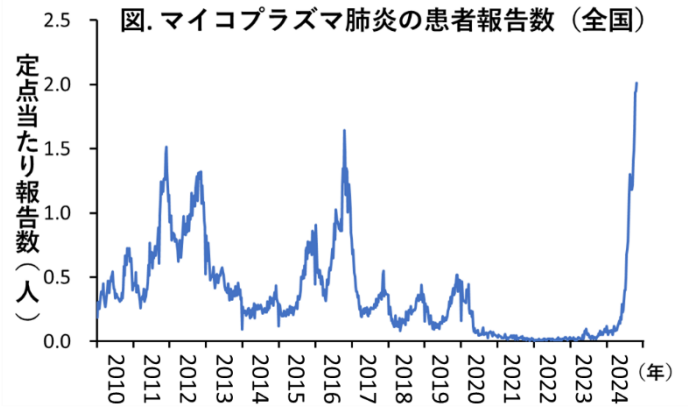
劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2件 (①②共に80歳代、G群 ①男性 ②女性)

《定点報告の感染症》

今週の富山県内上位6疾患

順位	疾病名	定点あたりの数	
		今週(増減)	先週
1位	手足口病	12.38 (↓)	18.00
2位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.10 (↑)	2.62
3位	感染性胃腸炎	2.79 (→)	2.79
4位	マイコプラズマ肺炎	2.40 (↑)	1.80
5位	COVID-19	1.31 (↓)	1.56
6位	インフルエンザ	0.54 (↑)	0.10

富山県感染症情報センターURL: <https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/>



〇感染症発生動向調査報告状況（令和6年第43週 令和6年10月21日～令和6年10月27日）

分類	疾患	今週報告分（第43週）						累積報告数（令和6年第1週（1月1日）～）					
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核			2	1		3	11	5	32	11	42	101
	（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く				1		1	7	4	15	7	25	58
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症			1		1	2		2	9	3	8	22
四類感染症	E型肝炎											2	2
	ポツリヌス症											4	4
	レジオネラ症							3	2	11	4	19	39
五類感染症	アメーバ赤痢											3	3
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症							2		4		11	17
	急性脳炎				1		1			1	1	1	3
	クロイツフェルト・ヤコブ病											1	1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1				1	2	2		4	1	12	19
	後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）										1	3	4
	ジアルジア症											1	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症									3	1	5	9
	侵襲性髄膜炎菌感染症											1	1
	侵襲性肺炎球菌感染症							2		2		4	8
	水痘（入院例）							1	1	1			3
	梅毒							2		8	7	20	37
	播種性クリプトコックス症											1	1
	破傷風									2			2
	百日咳											1	1
	インフルエンザ／COVID-19定点（48定点）	インフルエンザ		1	23		2	26	1,085	1,036	4,070	1,567	5,082
COVID-19		17	0.20	1.77		0.13	0.54	2,439	1,242	3,939	2,189	3,236	13,045
小児科定点（29定点）	RSウイルス感染症	2.43	0.40	1.54	1.14	1.00	1.31	78	71	618	72	480	1,319
	咽頭結膜熱	1		1		4	6	124	260	698	39	710	1,831
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.25		0.13		0.40	0.21						
	感染性胃腸炎	2	5	56		27	90	203	178	3,029	321	1,462	5,193
	水痘	0.50	1.67	7.00		2.70	3.10						
	手足口病	21	1	13		46	81	942	690	1,526	689	3,746	7,593
	伝染性紅斑	5.25	0.33	1.63		4.60	2.79						
	突発性発しん			2		2	4	3	18	120	15	82	238
	ヘルパンギーナ			0.25		0.20	0.14						
	流行性耳下腺炎	14	49	121		153	359	252	798	3,504	643	3,465	8,662
	急性出血性結膜炎	3.50	16.33	15.13		5.50	12.38						
	流行性角結膜炎		2			1	3	1	16	8	2	13	40
	無菌性髄膜炎			3		1	4	10	17	133	32	115	307
	マイコプラズマ肺炎			0.38		0.10	0.14						
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	2	4			3	9	87	41	111	93	243	575	
入院サーベイランス（5定点）	0.50	1.33			0.30	0.31							
眼科定点（7定点）							4	1	7	3	11	26	
基幹定点（5定点）	無菌性髄膜炎									1	3		4
	マイコプラズマ肺炎		2	4		6	12	1	14	42	18	15	90
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）		2.00	4.00	6.00		2.40			1			1
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※1）							1			1		2
	COVID-19による入院患者	1	1	1	1	3	7	218	166	206	244	587	1,421

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和6年第36週（9月2日）～の集計です。

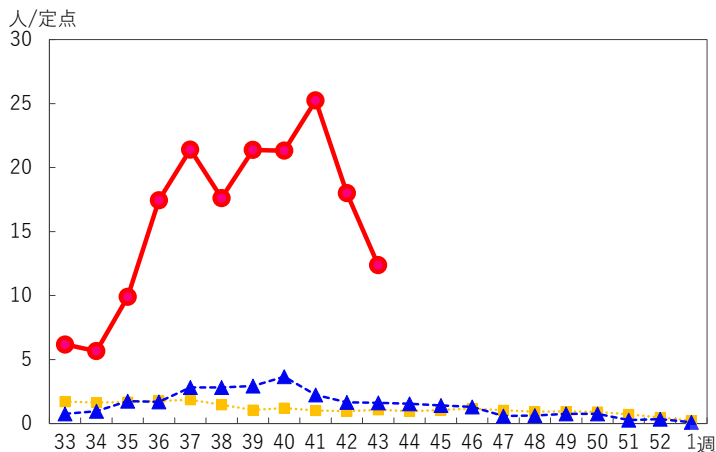
今週の富山県内上位6疾患（定点把握）

2024（令和6）年 第43週（10月21日（月）～10月27日（日））

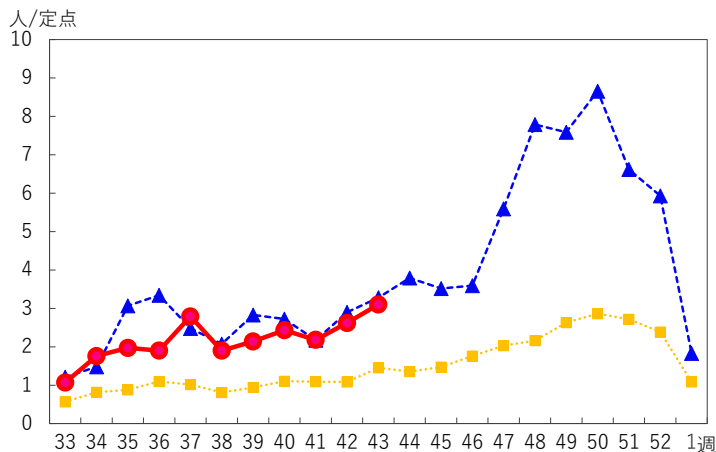
10月30日時点速報値

● 現在 ▲ 前年 ■ 過去10年平均

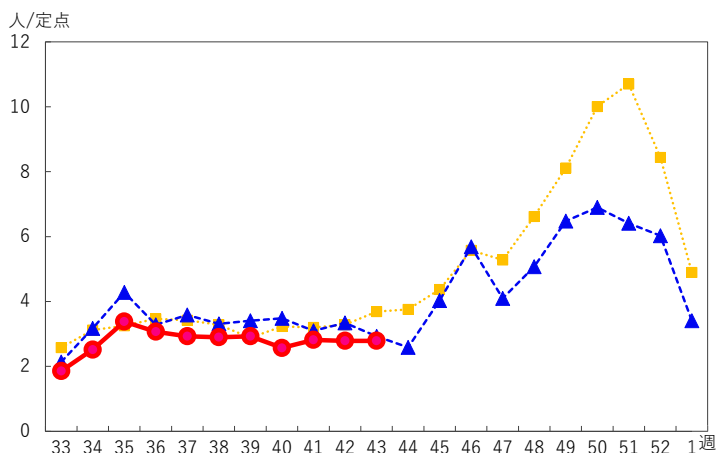
手足口病



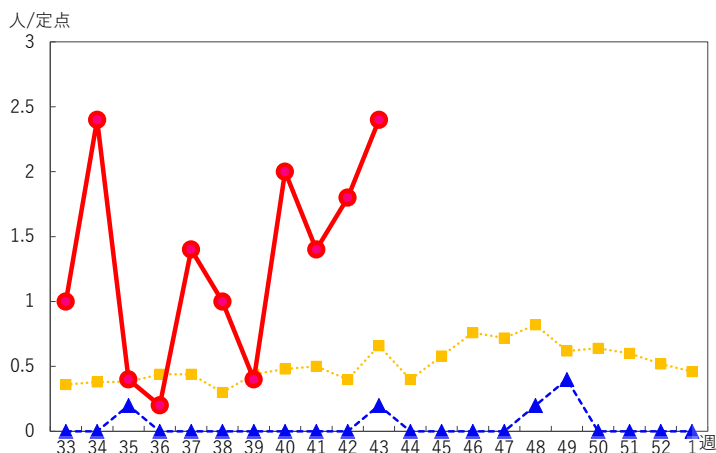
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



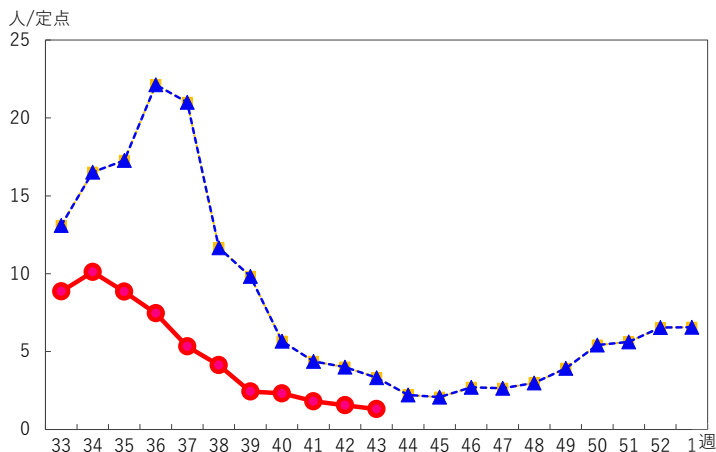
感染性胃腸炎



マイコプラズマ肺炎



COVID-19



インフルエンザ

